

広島県立沼南高等学校卒業 **本谷翔さん**(株式会社サンワファーム)



本谷 翔（もとたに しょう）さんの紹介

本谷翔さん（21歳）は、県立沼南高等学校園芸デザイン科を卒業後、県立農業技術大学校落葉果樹コースを経て、平成29年4月に世羅町の株式会社サンワファームに就職就農しました。

株式会社サンワファームでは、今まで学んできた農業学習を生かし、ピオーネをはじめとして各種ぶどうの栽培管理や販売先への運搬などに関わっています。

○本谷翔さんの就農までの道

農業高校
(県立沼南高等学校)

県立農業技術大学校
(落葉果樹コース)

就農
(株)サンワファーム

農業高校に入学しようと思ったキッカケは？ 農業を仕事にしようと思ったきっかけは？

私は、非農家出身ですが、中学校の先生や親の紹介があり、実習をしながらぶどう栽培などの農業を学べる沼南高校の園芸デザイン科を選び受験しました。

沼南高校在学中、ぶどう栽培を通して農業への関心を深め、実習や座学を通して農業を学ぶことを楽しく感じ、農業の知識・技術を深く学びたいと思うようになりました。そして広島県立農業技術大学校の落葉果樹コースへの進学し、将来はぶどうに携わる仕事に就きたいと考える様になりました。

高校や大学校で学んだことは？

高校の時は、先生方の指示で植物の管理をし、自分で考えることが少なかったのですが、その分栽培の楽しさやその基礎を学ぶことができました。農業技術大学校の卒業論文プロジェクトでは、植物の管理全般を自分で考え、計画することが求められました。計画作成や計算で苦労することが多かったのですが、考える力や先を見通す習慣が備わったと思います。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

手間暇かけたぶどうを収穫できること、経験を積むことでぶどう栽培の技術が深まり身に付くこと、地域の農業に貢献できること、体を動かして一日を終えた時の疲労感を通して「仕事をした」という実感と充実感が生まれること、全体の仕事の様子を見つつも自分で考え判断や工夫しながら仕事ができることなどです。



就農先の紹介

株式会社サンワファームは、世羅町でピオーネ、シャインマスカット、サニールージュなどのブドウを栽培しています。平成20年に設立されました。現在、3.7ヘクタールの敷地に、2.5ヘクタールの果樹棚を設置し、601本のブドウの樹を栽培中です。

所在地の世羅町は350m～450mの台地にあり、平均気温13度、年間降水量1,300mm等の地理的環境を生かし、ブドウやナシ、花などを利用した観光農業もさかんで県外からも多くの方が訪れます。